

雫石地区の実践活動

令和2年度

令和2年度はコロナの影響で様々なイベントが中止になりましたが、そのような中でも雫石地区では3つの実践・チーム活動が行われました。

「産直応援隊」

コロナの影響により売上減少した産直農家さんの応援と、雫石に帰省や旅行で来れない人たちへ、雫石の特産品を送る取り組みとして“ふるさと宅配便”を実施しました。特産品には、手作りのマスクとメッセージカードが同封され、“産直応援隊”は産直マップで作成したイラストを利用したメッセージカードの作成や、マスクの袋詰めやアイロン掛け作業に取り組みました。

「しずくいし雪灯り&はしご酒」

今年度はコロナの影響で「はしご酒」は中止となり「雪灯り」単独での開催となりました。まちおこしセンターしずく×CANの駐車場には、花火をイメージした800個の雪灯りが灯されました。さらに感染対策の一環として、会場に来なくてもお家で雪灯りを楽しんでもらい、SNSに自宅で作成した雪灯りの写真を投稿してもらうとプレゼントがもらえる取り組みなども実施しました。

「リノベ&防災」

10月18日に開催された「雫石町災害ボランティア講習会」において、昨年度に作成した床下模型を利用して、豪雨災害における床下の泥出し訓練として、床板のはがし方などを実践しながら学びました。

